

商品名 アレンドロン酸錠35mg「SN」 医薬品基本情報

薬効	3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品	一般名	アレンドロン酸ナトリウム水和物錠
英名	Alendronate SN	剤型	錠
薬価	229.20	規格	35mg 1錠
メーカー	シオノケミカル	毒劇区分	(劇)

アレンドロン酸錠35mg「SN」の効能・効果

骨粗鬆症

アレンドロン酸錠35mg「SN」の使用制限等

- 食道狭窄、アカラシア、食道弛緩不能症、食道通過を遅延させる障害、30分以上上体を起こしていることのできない、30分以上立っていることのできない、類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、低カルシウム血症
- 低カルシウム血症、ビタミンD欠乏症、ビタミンD代謝異常、ミネラル代謝障害、歯科処置の既往、悪性腫瘍、抜歯、放射線療法、顎骨に対する局所感染、化学療法、コルチコステロイド治療、口腔の不衛生、顎骨に対する侵襲的歯科処置、血管新生阻害薬治療、耳感染、耳外傷、胃炎、嚥下困難、食道炎、十二指腸炎、上部消化管障害、上部消化管潰瘍、重篤な腎機能障害、高度腎機能障害、eGFRが ≥ 30 mL/min/1.73m²未満

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止
記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

アレンドロン酸錠35mg「SN」の副作用等

- 食道障害、食道穿孔、食道狭窄、食道潰瘍、食道びらん、出血、口腔内潰瘍、吐血、下血、貧血、嚥下困難、嚥下痛、胸骨下痛、胸やけ、口腔内異和感、口内痛、口内痛悪化、上腹部痛、心窩部痛、上腹部不快感、上腹部不快感悪化、AST上昇、ALT上昇、肝機能障害、黄疸、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、外耳道骨壊死、大腿骨転子下非定型骨折、近位大腿骨骨幹部非定型骨折、近位尺骨骨幹部非定型骨折、非定型骨折
- 食道炎、出血性胃潰瘍、胃潰瘍、出血性十二指腸潰瘍、十二指腸潰瘍、出血性胃炎
- 痙攣、テタニー、しびれ、失見当識、QT延長、低カルシウム血症、顎骨壊死、顎骨骨髓炎

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明
記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満
記載場所	重大な副作用
頻度	0.1%未満

4.	鼓腸放屁、口内乾燥、嚥下困難、歯肉腫脹、紅斑、湿疹、貧血、赤血球数減少、ヘモグロビン低下、白血球数減少、血小板数減少、頻尿、排尿困難、回転性めまい、知覚減退、不眠、不眠症、血清リン低下、血清カリウム上昇、ぶどう膜炎、上強膜炎、血管浮腫、LDH上昇、総コレステロール値上昇、血清アルブミン低下、下肢痛	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
5.	胃痛、心窩部痛、胃不快感、胃重感、腹部不快感、腹痛、嘔吐、食欲不振、腹部膨満感、口内炎、胃酸逆流、咽喉頭痛、咽喉頭不快感、おくび、嘔気、便秘、下痢、胃炎、消化不良、発疹、皮膚かゆみ、脱毛、蕁麻疹、肝機能異常、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、BUN上昇、浮動性めまい、頭痛、関節痛、背痛、背部痛、筋肉痛、骨痛、日常生活に支障を来たすような激しい関節痛、日常生活に支障を来たすような激しい背痛、日常生活に支障を来たすような激しい背部痛、日常生活に支障を来たすような激しい筋肉痛、日常生活に支障を来たすような激しい骨痛、筋痙攣、眼症状、眼のかすみ、眼異和感、強膜炎、胸痛、倦怠、倦怠感、味覚倒錯、末梢性浮腫、顔面浮腫、動悸、脱力、脱力感、発熱、気分不良、ほてり、顔面紅潮、熱感、CK上昇、血圧上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
6.	大腿部痛、鼠径部痛、前腕部痛、前駆痛	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
7.	片側非定型骨折	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
8.	局所刺激症状、嚥下困難、嚥下痛、胸骨下痛、胸やけ、胸やけ悪化、顎骨壊死、顎骨骨髓炎、外耳道骨壊死、非外傷性大腿骨転子下非定型骨折、軽微な外力による大腿骨転子下非定型骨折、非外傷性近位大腿骨骨幹部非定型骨折、軽微な外力による近位大腿骨骨幹部非定型骨折、非外傷性近位尺骨骨幹部非定型骨折、軽微な外力による近位尺骨骨幹部非定型骨折、非定型骨折、刺激、低カルシウム血症、補正血清カルシウム値が8mg/dL未満、低リン酸血症、上部消化管障害、胃不調、食道炎、胃炎、上部消化管潰瘍	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

アレンドロン酸錠35mg「SN」の相互作用

- 薬剤名等：水以外の飲み物

発現事象	吸収を抑制
------	-------

理由・原因	-
-------	---

投与条件	一緒
------	----

指示	注意
----	----

- 薬剤名等：Ca・Mg等の含量の特に高いミネラルウォーター

発現事象	吸収を抑制
------	-------

理由・原因	-
-------	---

投与条件	一緒
------	----

指示	注意
----	----

- 薬剤名等：食物

発現事象	吸収を抑制
------	-------

理由・原因	-
-------	---

投与条件	一緒
------	----

指示	注意
----	----

- 薬剤名等：他の薬剤と服用

発現事象	吸収を抑制	投与条件	一緒
理由・原因	-	指示	注意

5. 薬剤名等：化学療法

発現事象	顎骨壊死、顎骨骨髓炎	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

6. 薬剤名等：血管新生阻害薬治療

発現事象	顎骨壊死、顎骨骨髓炎	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

7. 薬剤名等：コルチコステロイド治療

発現事象	顎骨壊死、顎骨骨髓炎	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

8. 薬剤名等：放射線療法

発現事象	顎骨壊死、顎骨骨髓炎	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

9. 薬剤名等：カルシウム・マグネシウム等の金属を含有する経口剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	本剤は多価の陽イオン（Ca、Mg等）とキレートを形成することがあるので、併用すると本剤の吸収を低下	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』